



25-26 March 2017

The 24th Annual Meeting of  
Excavations in West Asia



ヤシントベ新アッシリア時代公共施設の発掘(イラク・クルディスタン)



アクリス遺跡出土人形木棺(エジプト)



ハラアト・ジュハイラ202号遺跡出土石器(ヨルダン)

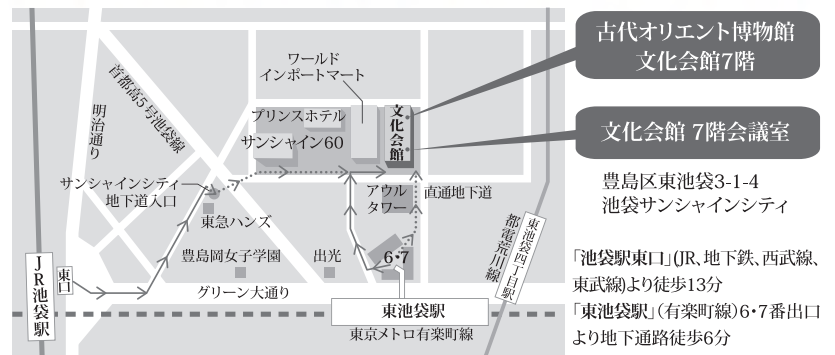
# 第24回 考古学が語る古代オリエント 西アジア発掘調査報告会 —2016年度発掘調査の速報—

2017年 3月25日(土)・26日(日)

主 催：日本西アジア考古学会・古代オリエント博物館

後援：国士舘大学イラク古代文化研究所・日本考古学協会・早稲田大学エジプト学研究所

会 場：池袋サンシャインシティ文化会館 7階会議室705室



古代オリエント博物館  
文化会館7階

文化会館 7階会議室

豊島区東池袋3-1-4  
池袋サンシャインシティ

「池袋駅東口」(JR、地下鉄、西武線、東武線)より徒歩13分  
「東池袋駅」(有楽町線)6・7番出口より地下通路徒歩6分

定 員：各日先着150名(事前申込不要)

※座席数に限りがあり、立席になる場合もございます。  
あらかじめご了承ください。

参加費：1,000円(資料代含む)

※ただし日本西アジア考古学会会員および古代オリエント博物館友の会会員は500円。

※参加費は「両日参加」「1日のみ参加」で変わりません。

参加者は当日の古代オリエント博物館入館無料

※報告会当日、上記資料を受付でご呈示ください。

「クローズアップ展：南コーカサス地方で農耕の起源を探る—アゼルバイジャンの新石器時代—」開催中。

※開館時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)



ワディ・アガル岩陰の発掘区(ヨルダン)

2017年 3月25日(土)	
10:00-10:30	開場・受付
10:30-10:40	開会の辞
クルディスタンの調査	
10:40-11:05	報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ周辺の先史時代遺跡踏査(2016年)— 筑波大学人文社会科学系教授 常木 晃
11:05-11:30	報告② アッシリア帝国東部辺境を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト:第1次(2016年)— 中部大学人文学部共通教育科准教授 西山 伸一
レヴァントの調査	
11:30-11:55	報告③ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2016年)— 名古屋大学博物館講師 門脇 誠二
11:55-13:00 昼食休憩	
13:00-13:25	報告④ 宗教的伝統の連続性と不連続性 —パレスチナ自治区ベイティン遺跡第5次考古学的調査(2016年)— 慶應義塾大学文学部教授 杉本 智俊
13:25-13:50	報告⑤ 下ガリラヤ地方における初期シナゴグの新例 —テル・レヘシュ第10次発掘調査(2016年)— 天理大学文学部教授 桑原 久男
13:50-14:15	報告⑥ ヨルダン、グレコ・ローマンの古代都市ウム・カイス/ ガダラの研究—ウム・カイス遺跡西円形劇場の修復— 国士舘大学イラク古代文化研究所教授 松本 健
14:15-14:30 休憩	
中央アジアの調査	
14:30-14:55	報告⑦ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 —第4次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2016年)— 東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏
14:55-15:20	報告⑧ ユーラシア古代遊牧社会形成の比較考古学 —キルギス、ナリン川流域での日本—キルギス合同考古学調査(2016年)— 東京藝術大学ユーラシア文化交流センタープロジェクト 特任講師 久米 正吾
15:20-15:45	報告⑨ カフィル・カラ遺跡のシタデルを覆う火災層 —日本・ウズベク調査隊の発掘調査(2016年)— 京都大学大学院生 ベグマトフ・アリシエル
15:45-16:10	報告⑩ 中央アジア、シルクロード拠点都市の成立とその展開 —キルギス共和国、アク・ベシム(スイヤブ)遺跡の調査(2016年度)— 帝京大学文化財研究所教授 山内 和也
16:10-16:25 休憩	
特別講演	
16:25-17:05	内戦下におけるシリア文化遺産の保全 Protection of Syrian cultural heritage during the crises シリア文化財博物館総局長 マムーン・アブドゥルカリム (Maamoun Abdulkarim, General Director, Directorate-General of Antiquities and Museum (DGAM), Syria)
※日本語通訳あり。本特別講演は中止または変更になる場合があります。 最新情報は日本西アジア考古学会ホームページ(下記)でご確認ください。 ※本講演は資料には掲載されません。	
17:10	1日目終了
17:30-19:30	懇親会 会費5,000円(学生4,000円) ※懇親会はどなたでも参加できます。ただし事前申込制で、当日参加はできません。 申込方法は日本西アジア考古学会ホームページ(下記)をご覧ください。

2017年 3月26日(日)	
10:00-10:30	開場・受付
コーカサスとアナトリアの調査	
10:30-10:55	報告⑪ 南コーカサス地方の新石器時代 —日本・アゼルバイジャン調査団第9次発掘調査(2016年)— 東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏
10:55-11:20	報告⑫ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて —キュルテベ遺跡北トレンチ発掘調査2016年— ノートルダム清心女子大学文学部教授 紺谷 亮一
アラビア半島の調査	
11:20-11:45	報告⑬ 先史オアシスの形成過程をさぐる —オマーン、パート遺跡群の環境考古学的調査— 総合地球環境学研究所研究基盤国際センター准教授 近藤 康久
11:45-13:00 昼食休憩	
13:00-13:25	報告⑭ 古代ディルムン王国の起源を求めて —バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2016— 東京文化財研究所研究員 安倍 雅史
13:25-13:50	報告⑮ オマーン湾港町ディハの発掘 —アラブ首長国連邦ディハ遺跡第14次調査(2016年)— 金沢大学名誉教授 佐々木 達夫
エジプトの調査	
13:50-14:15	報告⑯ ネクロポリス・テーベ、アル=コーカ地区の岩窟墓調査 —エジプト、アル=コーカ地区第9次(2015-16)、第10次(2016)調査— 早稲田大学エジプト学研究所所長・同文学学術院教授 近藤 二郎
14:15-14:30 休憩	
14:30-14:55	報告⑰ アブシールのピラミッドにおける3次元計測調査 —ネフェルイルカーラー王のピラミッド調査(2015-16年度)— 名古屋大学共同研究員 河江 肖剛
14:55-15:20	報告⑱ 王朝衰退期の庶民層の動向 —エジプト・アコリス遺跡調査2016— 古代オリエント博物館共同研究員 花坂 哲
15:20-15:45	報告⑲ エジプト西方デルタ・イドゥク湖南域の考古学調査 —探査画像にみるヘレニズム集落の構造— 早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏
15:45	閉会の辞
15:50	閉会

ポスター展示 (3/25-26)	
※口頭発表はありません。報告集(資料)には掲載されます。	
ポスター①	ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化 —ハラアト・ジュハイラ遺跡群の第1次・2次発掘調査(2016年)— 金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫
ポスター②	レヴァント回廊の歴史を探る —レバノン、ベカー高原南部考古学踏査プロジェクト:第2次(2016年)— 中部大学人文学部共通教育科准教授 西山 伸一
ポスター③	アラビア半島の遊牧化 —ワディ・シャルマ地区円塔墓遺跡群の分布・発掘調査(2016年)— 金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫
ポスター④	古代エジプト新王国時代の墓地の調査 —エジプト、北サッカラ遺跡の踏査(2016年)— 金沢大学新学術創成研究機構准教授 河合 望
ポスター⑤	古代エジプトの聖なる丘の発掘調査 —エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡第25次調査(2016年)— 金沢大学新学術創成研究機構准教授 河合 望